

福祉 おおさか

8月号
(581号)

社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 常務理事 酒井喜正
〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター内
TEL.06-6762-9471 FAX.06-6764-5374
http://www.osakafusyakyo.or.jp
定価1部50円 年600円(郵送料別)

府社協は
おかげさまで

60
周年

主要記事

4~5面 特集 東日本大震災 支援特集②
6~7面 施設通信 「社会福祉施設における節電対策について」ほか

マッセ・市民セミナー 参加費 無料 定員 200名

いづれもマッセOSAKAのホームページ「お知らせコーナー」
(http://www.masse.or.jp)でお申込みできます。

福祉を学ぶ府民講座 「障がい者の豊かな暮らしを支える」

日時 8月24日(水) 13:30~17:00
会場 大阪府社会福祉会館
内容 講演:「障がい者の豊かな暮らしを支える
取り組みについて」
実践報告:「魅力ある実践から学ぶ」
・「社会福祉法人読書福祉会と大分キャンソンの取り組み」
・「京都中小企業家同友会での就労支援の取り組み」
・「特定非営利活動法人京都ほっとはあとセンターでの
就労支援の取り組み」

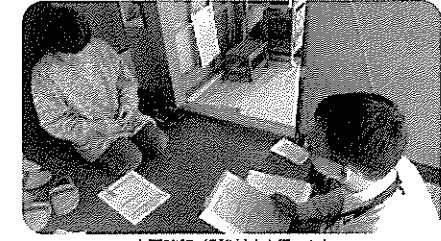
講師 植田 章氏(佛教大学教授)
丹羽 和美氏(社会福祉法人 曉雲福祉会)
土井 善子氏(有限会社 レストラン 恩風都)
諏訪 元久氏(特定非営利活動法人 京都ほっとはあとセンター)
申込 大阪社会福祉研修センター
TEL 06(6762) 9035

「ひきこもり・ニート 地域支援の ネットワークづくりについて」

日時 9月7日(水) 13:00~16:30
会場 大阪国際交流センター
内容 講演:「ひきこもり・ニート
当事者・家族の現状と支援について」
・実践報告
・パネルディスカッション
講師 山本 耕平氏(立命館大学教授)
申込 氏名、職種、職業(役職名)を、9月1日(木)まで
にFAX 06-6762-9679でお申込みください。
ボランティア・市民活動センター
TEL 06(6762) 9631

老人施設部会 被災地支援活動にコミュニティ ソーシャルワーカー等を派遣

～岩手県大槌町～



安否確認、相談対応を行います

遣(9クール18人)など、被災地支援活動
に取り組んできました。
現在、被災地では仮設住宅への転居が
始まるなど状況が刻々と変化しており、
今後は復興に向けた日常生活の支援が重
点課題になってくると見込まれます。
特に、高齢者・障がい者などの要援護者

東日本大震災
発生直後から、
老人施設部会
は、会員施設の
協力のもと、被
災地への義援金
拠出、全社協社
会福祉施設協議
会連絡会からの
協力要請に基づ
く施設職員の派



岩手県大槌町社協災害ボランティアセンター

派遣期間は
平成23年8月か
ら1年間として
おり、施設のコ
ミュニティソー
シャルワーカー
あるいは施設が
推薦する職員
を派遣する予
定です。

に対する十分な見守りと継続的な支援体
制の準備が重要になってきています。
こうしたことから、これまで被災地支
援活動で実績がある岩手県大槌町社協災
害ボランティアセンターを拠点に、在宅、
避難所、仮設住宅を訪問して住民の安否
確認や各種の相談ごとへの対応を大槌町
社協をはじめとする他の支援団体等と連
携・協働しながら活動を進めていくこと
になりました。



7年間にわたり、老人施設部会を中心
に府社協とともに取り組んできた総合生
活相談事業である社会貢献事業は、全て
の方に対してワンストップで対応し、相談
から解決に至るまで対象者に寄り添いな
がら支援を行う事業です。
この事業で培ってきたコミュニティソー
シャルワーカーの実践を生かし、「アウト
リーチによる積極的な要援護者のニーズ
把握」と、「被災者に寄り添いながら生活
の再構築を目指す総合的な相談援助活
動」を被災地支援に役立てられるよう、取
り組んでいきます。

東日本大震災支援活動報告

(災害救援活動義援金の情報は、ホームページをご覧ください)

連日の猛暑と節電で今
年は体力を消耗する日が
続いている。そんな暑さを
サッカー女子W杯決勝の
「なでしこジャパン」が吹き
飛ばしてくれた。強豪アメ
リカをPK戦で下し、日
本の女子サッカー史上初
の金メダルという快挙である。そ
の強く優しくフェアなプレーぶ
りは被災地の方々をはじめ誰も
に爽やかな風と元気を与えてく
れた。彼女たちの活躍に心から拍
手を送りたい▼東日本大震災か
ら4ヵ月半が経過
するも復興担当相
のわずか9日での辞
任や「原発依存なき
社会」など、政府の
場当たり的な遅々
とした復興対策の状況に被災さ
れた方々は翻弄されている。いつ
まで希望の持たない不自由な生
活を強いるのだろうか。財政悪化
や少子高齢化などの難題を抱え
る日本だが、本格的な復興予算
の編成が最も急がれる▼まもな
くお盆の時期を迎える。改めて
東日本大震災で犠牲になられた
方々のご冥福をお祈りするとと
もに、被災された方々が生きる意
欲を持てるよう、心に寄り添った
スピード感ある政府の対応を切
望する。私たちひとり一人もさら
に支援の取り組みを進めよう。
『がんばろう！日本』
(喜)

焦点

連日の猛暑と節電で今
年は体力を消耗する日が
続いている。そんな暑さを
サッカー女子W杯決勝の
「なでしこジャパン」が吹き
飛ばしてくれた。強豪アメ
リカをPK戦で下し、日
本の女子サッカー史上初
の金メダルという快挙である。そ
の強く優しくフェアなプレーぶ
りは被災地の方々をはじめ誰も
に爽やかな風と元気を与えてく
れた。彼女たちの活躍に心から拍
手を送りたい▼東日本大震災か
ら4ヵ月半が経過
するも復興担当相
のわずか9日での辞
任や「原発依存なき
社会」など、政府の
場当たり的な遅々
とした復興対策の状況に被災さ
れた方々は翻弄されている。いつ
まで希望の持たない不自由な生
活を強いるのだろうか。財政悪化
や少子高齢化などの難題を抱え
る日本だが、本格的な復興予算
の編成が最も急がれる▼まもな
くお盆の時期を迎える。改めて
東日本大震災で犠牲になられた
方々のご冥福をお祈りするとと
もに、被災された方々が生きる意
欲を持てるよう、心に寄り添った
スピード感ある政府の対応を切
望する。私たちひとり一人もさら
に支援の取り組みを進めよう。
『がんばろう！日本』
(喜)